

地域のお客さまとともに

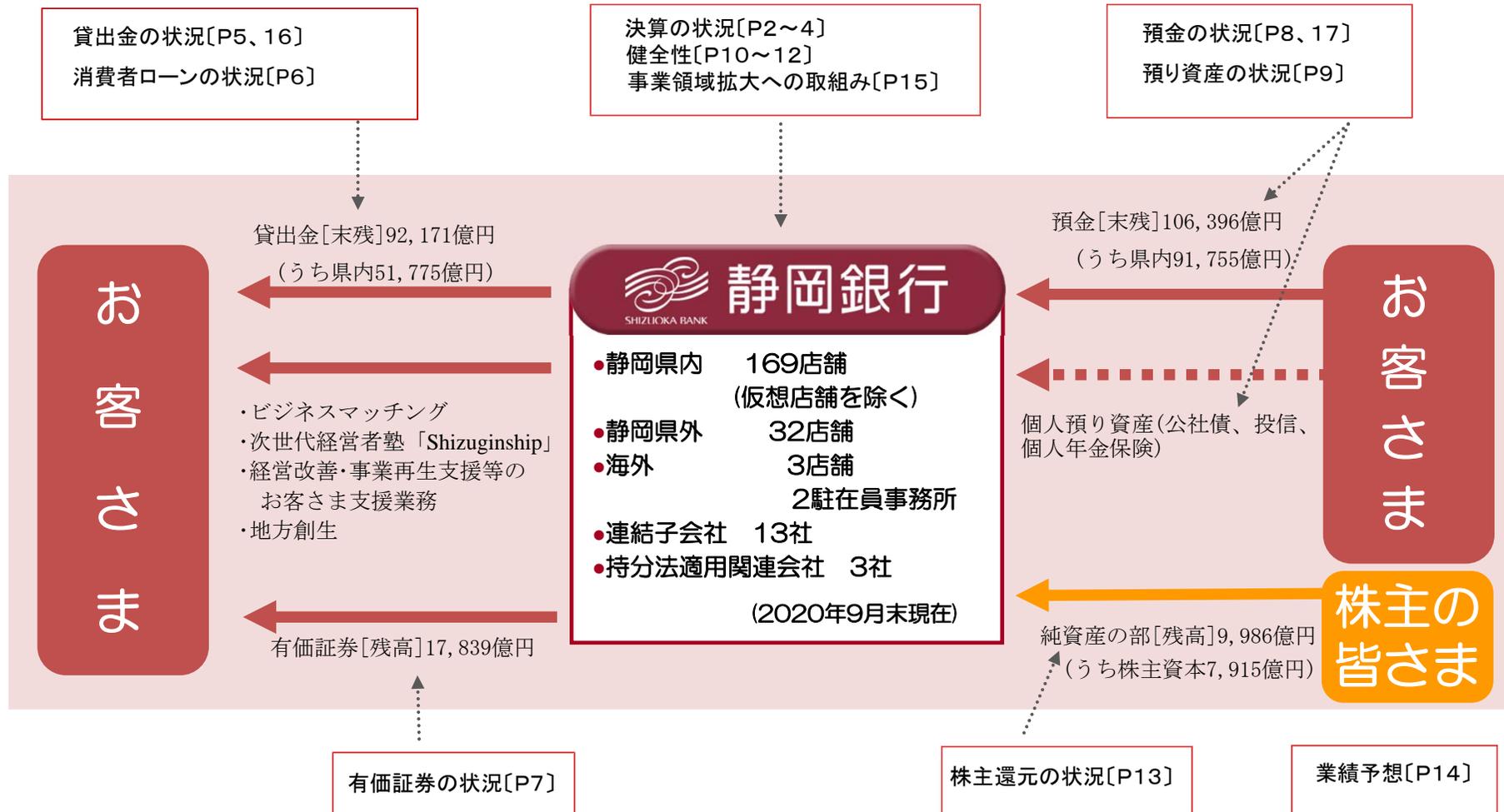
～2020年度中間決算ハイライト～



静岡銀行

地域のお客さまとともに

- 静岡銀行では、株主の皆さまからご出資いただいた資金、お客さまからお預りした資金をもとに、静岡県を中心としたお客さまへご融資を行い、暮らしや事業の夢の実現のお手伝いをするとともに、地域密着型金融への取組みなどを通じて地域経済の持続的な発展に貢献することを経営の基本姿勢としています。



※本資料の金額等は原則として単位未満を四捨五入しています。

また、本資料における予想値については、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績はこれらの予想値と異なる結果となる可能性があります。

決算の状況（連結）

(億円、%)

《連結決算の状況》	2020年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
経常収益	1,170	△36	△3.0
経常費用(△)	815	△64	△7.3
経常利益	355	+28	+8.7
親会社株主に帰属する中間純利益	244	+8	+3.5

与信関係費用(△)	57	△11	△16.4
-----------	----	-----	-------

経常収益	前年同期比△36億円減収（2期連続）
------	--------------------

経常費用	前年同期比△64億円減少
------	--------------

経常利益	前年同期比+28億円増益（2期振り）
------	--------------------

親会社株主に帰属する中間純利益	前年同期比+8億円増益（2期振り）
-----------------	-------------------

《連結子会社(13社)》

静銀経営コンサルティング(株)

静銀リース(株)

静銀ITソリューション(株)

静銀信用保証(株)

静銀ディーシーカード(株)

静岡キャピタル(株)

静銀ティーエム証券(株)

静銀総合サービス(株)

静銀モーゲージサービス(株)

静銀ビジネスクリエイト(株)

しずぎんハートフル(株)

欧州静岡銀行

Shizuoka Liquidity Reserve Limited

《持分法適用関連会社(3社)》

静銀セゾンカード(株)

マネックスグループ(株)、コモンズ投信(株)

- 経常収益は、国債等債券売却益が増加(+20億円)したものの、外貨貸出金利息を中心とした外貨資金運用収益の減少などにより、前年同期比△36億円減少し1,170億円となりました。
- 経常費用は、株式等償却が増加(+21億円)したものの、預金利息を中心とした資金調達費用の減少(△99億円)などにより、前年同期比△64億円減少し815億円となりました。
- この結果、経常利益は、前年同期比+28億円増加し355億円となりました。
親会社株主に帰属する中間純利益についても、前年同期比+8億円増加し244億円となりました。

決算の状況（単体）

（億円、％）

《静岡銀行単体の状況》	2020年度 中間期	前年同期比	
		増減額	増減率
経常収益	942	△51	△5.1
業務粗利益	728	+30	+4.2
資金利益	575	+29	+5.2
（うち貸出金利息）	(498)	(△35)	(△6.7)
役務取引等利益	83	+0	+0.6
特定取引利益	4	+1	+42.2
その他業務利益	66	△0	△1.0
（うち国債等債券関係損益）	(54)	(+17)	(+44.9)
経費（△）	405	△0	△0.0
実質業務純益 ※1	322	+29	+10.1
コア業務純益 ※2	268	+13	+5.0
コア業務純益（除く投信解約損益）	260	+12	+4.8
一般貸倒引当金繰入額（△）	19	+16	+517.8
業務純益	304	+14	+4.7
臨時損益	16	+13	+338.0
うち不良債権処理額（△）	29	△29	△50.0
うち株式等関係損益	29	△16	△35.3
経常利益	320	+26	+8.9
特別損益	△1	△5	△132.3
税引前中間純利益	319	+22	+7.3
法人税等合計（△）	97	+16	+19.6
中間純利益	222	+6	+2.7
与信関係費用（△）	48	△14	△21.7

※1 実質業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額

※2 コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益

経常収益 前年同期比△51億円減収（2期連続）

●経常収益は、国債等債券売却益が増加（＋20億円）したものの、外貨貸出金利息を中心とした外貨資金運用収益の減少などにより、前年同期比△51億円減少し942億円となりました。

業務粗利益 前年同期比＋30億円増益（2期振り）

●業務粗利益は、資金利益の増加（＋29億円）などにより、前年同期比＋30億円増加し728億円となりました。

業務純益 前年同期比＋14億円増益（2期振り）

●業務純益は、一般貸倒引当金繰入額が増加（＋16億円）したものの、業務粗利益の増加などにより、前年同期比＋14億円増加し304億円となりました。

経常利益 前年同期比＋26億円増益（2期振り）

●経常利益は、不良債権処理額の減少（△29億円）などにより、前年同期比＋26億円増加し320億円となりました。

中間純利益 前年同期比＋6億円増益（2期振り）

●中間純利益は、前年同期比＋6億円増加し222億円となりました。

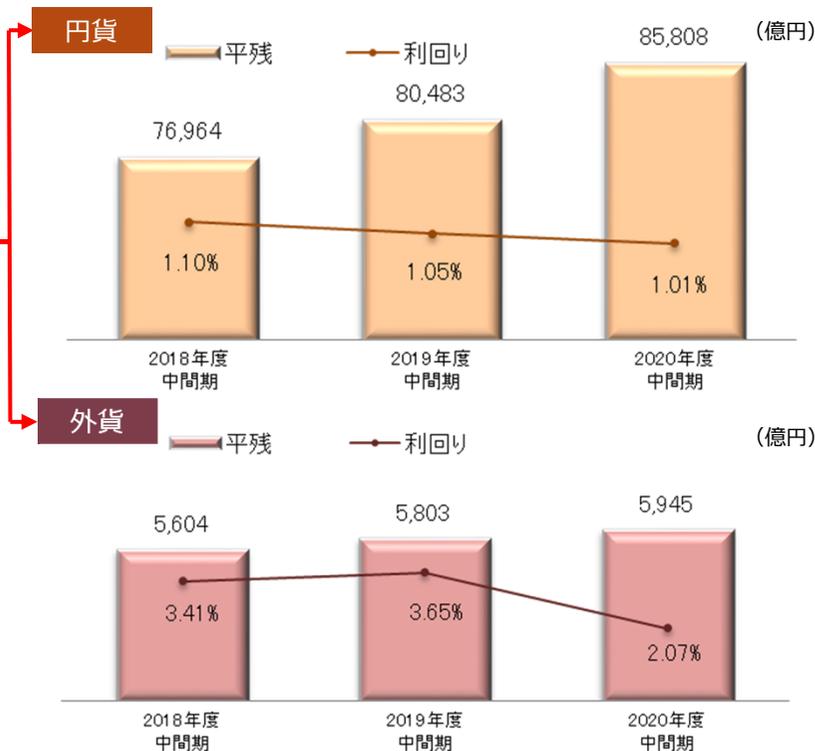
決算の状況（単体決算の主な特徴点）

- 営業店部門は預金等利息の減少などにより、前年同期比+18億円の増益となりました。
- 市場運用部門はコールマネー利息等の減少などにより、前年同期比+12億円の増益となりました。
- 経費は消費税等が増加したものの、減価償却費および給与・手当の減少などにより、前年同期比横ばいとなりました。

業務粗利益の内訳

(億円)	2018年度 中間期	2019年度 中間期	2020年度 中間期	前年 同期比
①営業店部門（預貸金等）	543	541	559	+18
貸出金利息	524	533	498	△35
うち円貨貸出金利息	428	427	436	+9
うち外貨貸出金利息	96	106	62	△44
役務取引等利益	82	83	83	+0
預金等利息（△）	63	75	22	△53
②市場運用部門	184	157	169	+12
有価証券利息配当金	216	137	125	△12
預け金利息等	27	30	7	△23
コールマネー利息等（△）	72	79	33	△46
特定取引利益	3	3	4	+1
その他業務利益	10	66	66	△0
うち国債等債券関係損益	△9	37	54	+17
(参考) 株式等売却益	46	45	51	+6

貸出金残高(平残)・利回り推移



経費の内訳

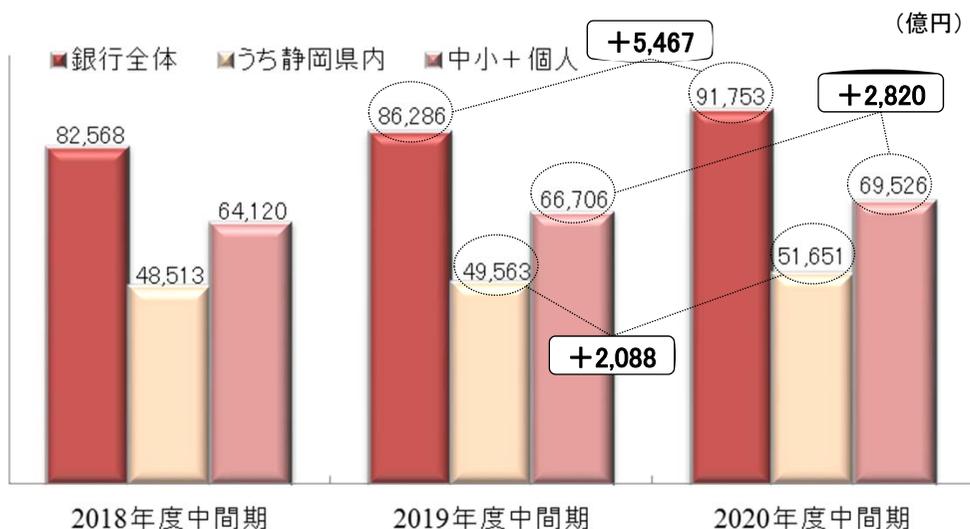
(億円)	2018年度 中間期	2019年度 中間期	2020年度 中間期	前年 同期比
経費	414	405	405	△0
人件費	164	159	156	△3
物件費	218	215	213	△2
税金	32	31	36	5

経費の主な増減要因

	増減額	主な増減
人件費	△3億円	給与・手当 △2億円
物件費	△2億円	減価償却費 △3億円
税金	5億円	消費税 +4億円

貸出金の状況

貸出金残高(平残)の推移



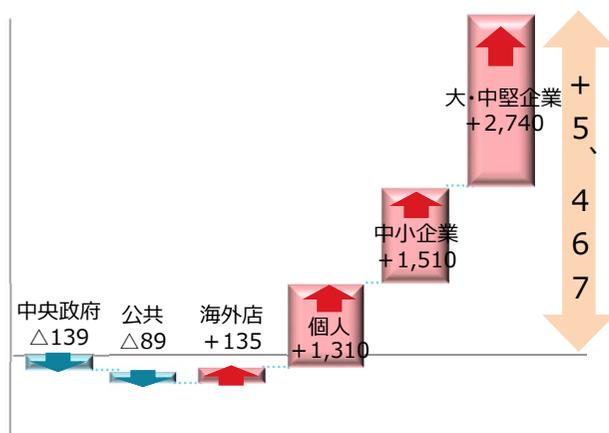
●2020年度中間期の貸出金残高(平残)は、91,753億円と前年同期比+5,467億円(年率+6.3%)の増加となりました。

貸出金残高(平残)増加の主な内訳は以下のとおり

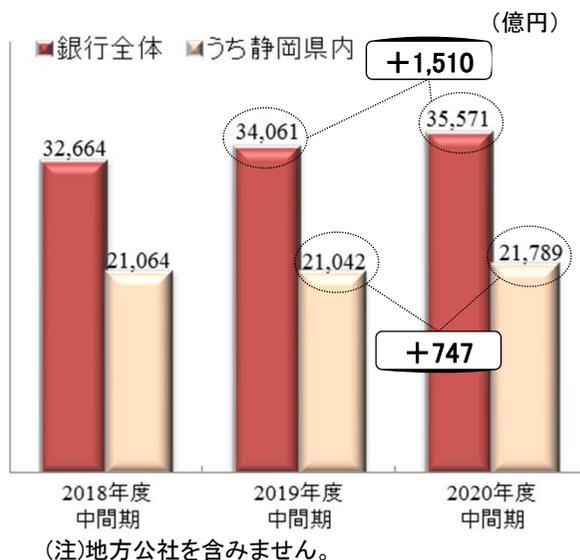
- ・大・中堅企業向け + 2,740億円(年率+17.9%)
- ・中小企業向け + 1,510億円(年率+4.4%)
- ・個人向け + 1,310億円(年率+4.0%)
- ・海外店 + 135億円(年率+6.1%)

企業規模別 貸出金残高(平残)の増減

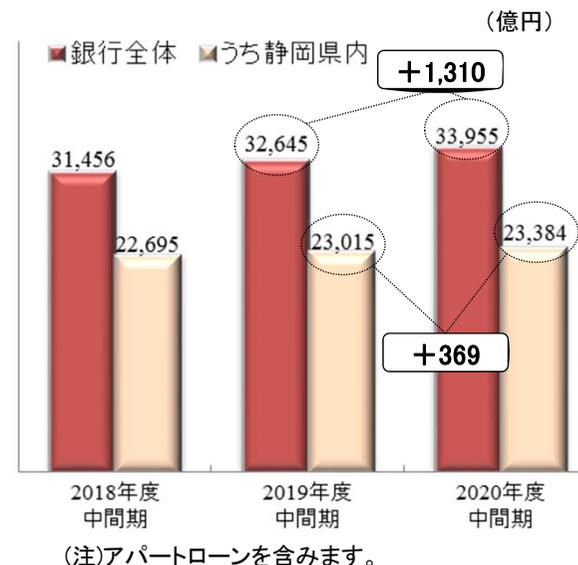
【貸出金増減額内訳(前年同期比)】 (億円)



うち中小企業向け貸出金残高(平残)の推移



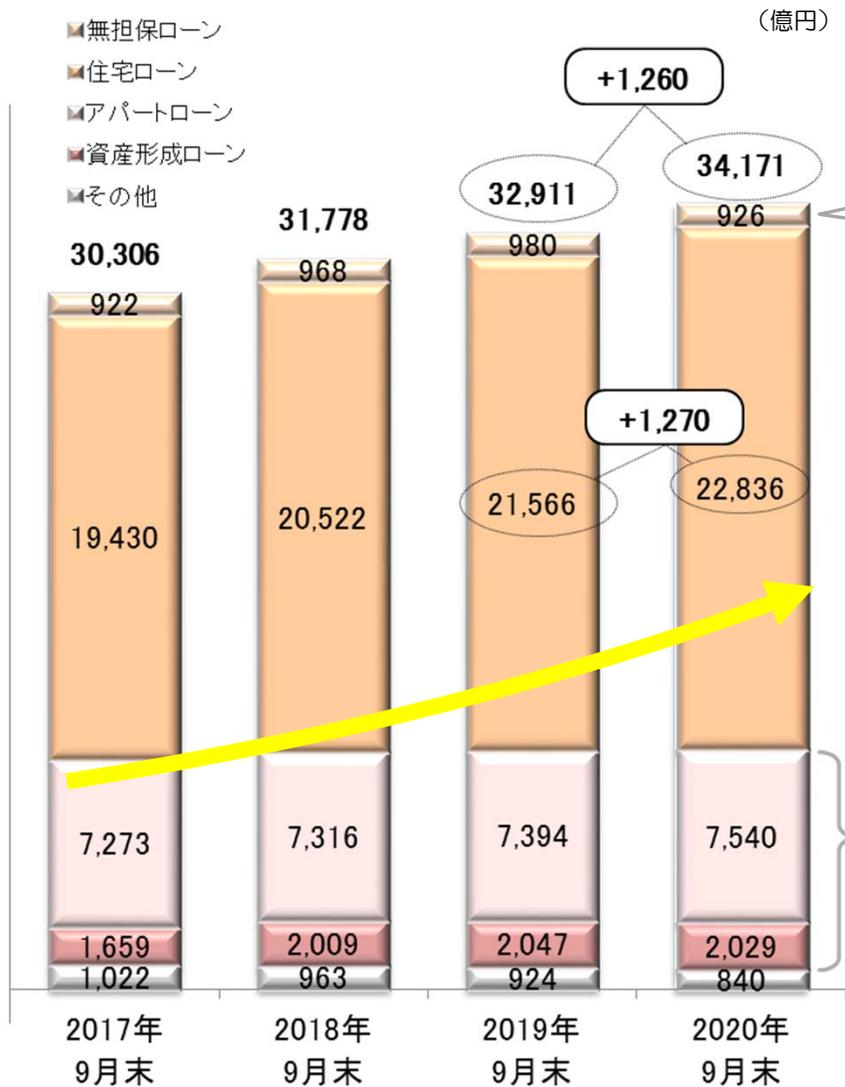
うち個人向け貸出金残高(平残)の推移



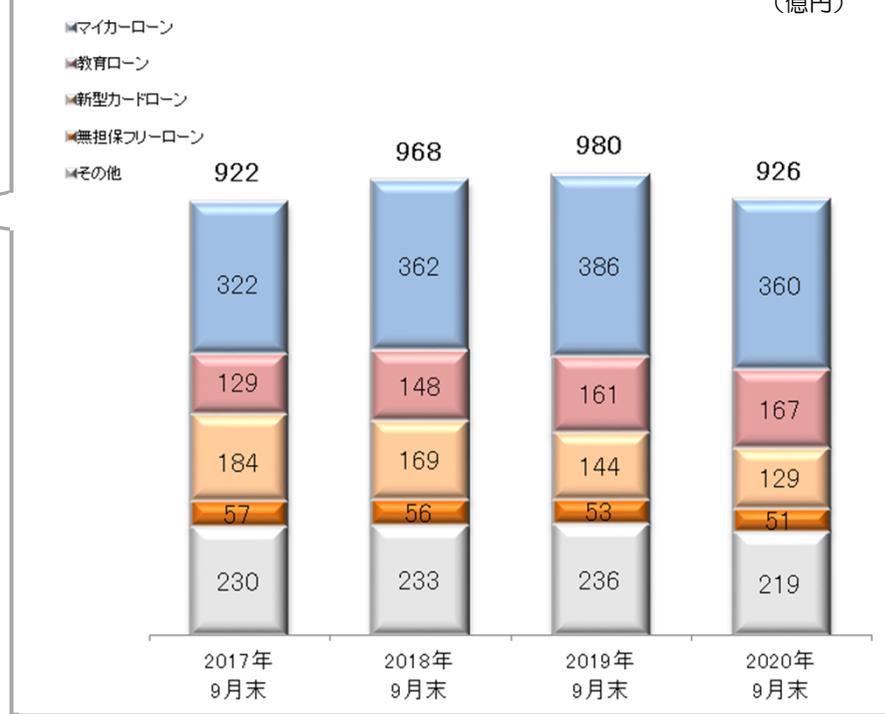
消費者ローンの状況

- 2020年9月末の消費者ローン未残は、住宅ローンを中心に増加基調を維持し、前年同期比+1,260億円(年率+3.8%)の34,171億円となりました。

消費者ローン未残の推移



無担保ローン未残の推移



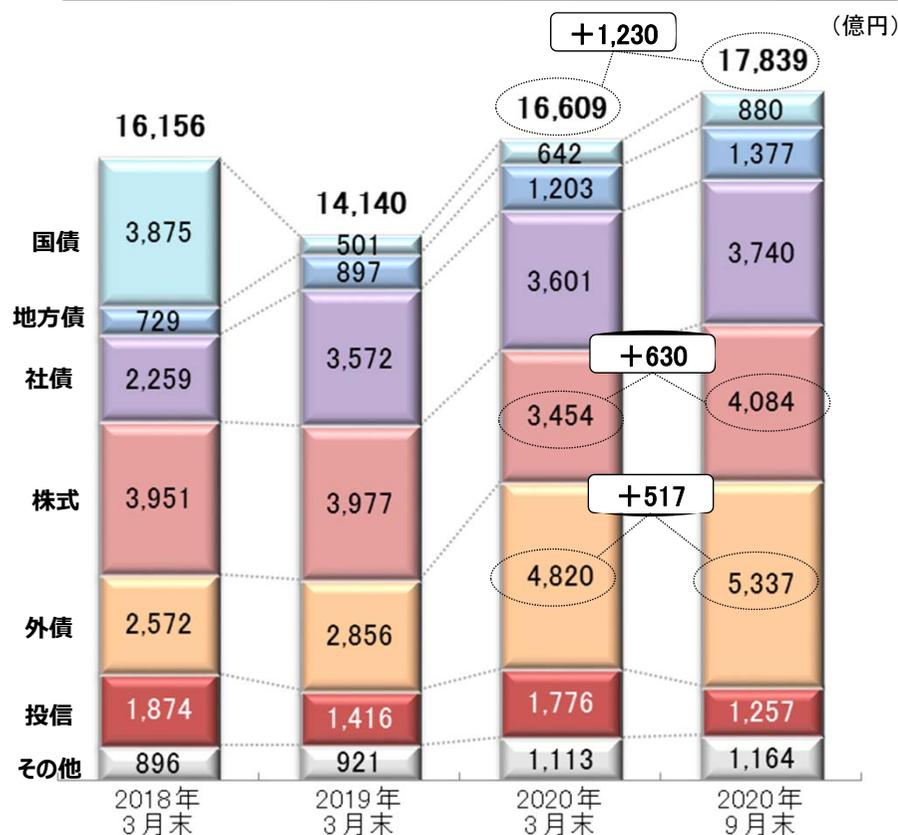
- ◆ アパートローン：
既に土地などの不動産を保有している方の資産活用のお手伝いをする商品
- ◆ 資産形成ローン：
所得水準が高く、これから資産形成を行っていく方をサポートする商品

アパートローン、資産形成ローンともに、「借り手の返済能力」に加え、空室リスクや賃貸価格の低下リスク等を勘案した「賃貸物件自体の収益性」を含めた事業リスクを重視した審査体制

有価証券の状況

- 2020年9月末の有価証券残高は、株式の増加などにより前期末比+1,230億円の17,839億円となりました。
- 2020年9月末の有価証券評価損益は、株式評価益の増加などにより前期末比+754億円の2,927億円となりました。

有価証券残高の推移



有価証券評価損益の推移

	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	2020年9月末	前期末比
株式	2,654	2,618	2,115	2,776	+661
債券 (円債)	52	59	35	35	△0
その他	19	38	23	116	+93
うち外債	△6	26	51	37	△14
うち投信	18	△12	△66	49	+115
合計	2,725	2,715	2,173	2,927	+754

〔日経平均株価〕

2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	2020年9月末
21,454.30円	21,205.81円	18,917.01円	23,185.12円

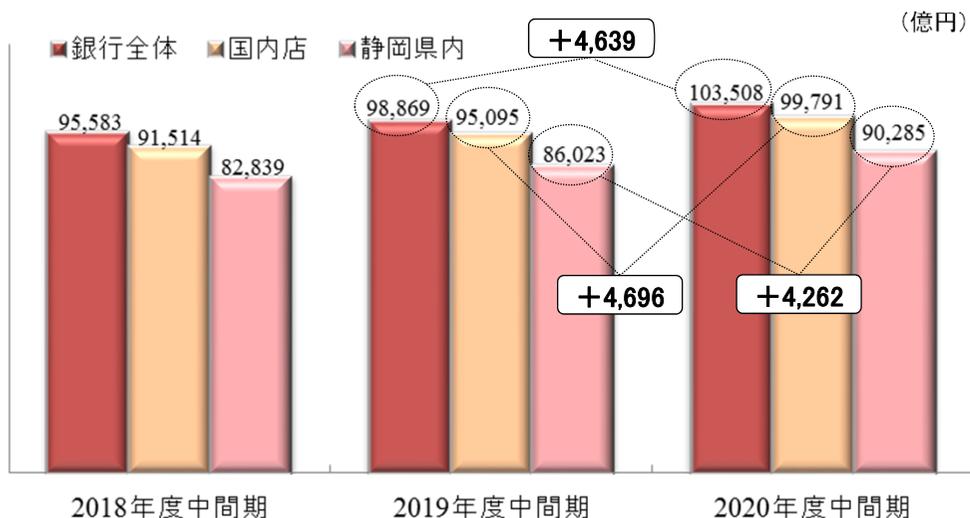
有価証券平均残存期間の推移

- 相場動向に応じた機動的な対応により、収益性および健全性の向上に努めています。

	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	2020年9月末
円貨債券	5.42年	5.02年	6.03年	6.12年
外貨債券	5.07年	3.96年	2.35年	2.49年

預金の状況

預金残高(平残)の推移



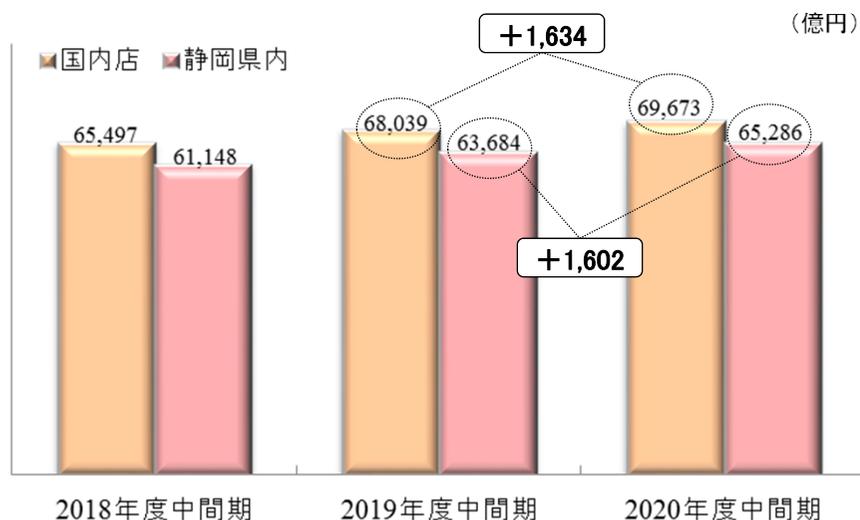
●2020年度中間期の預金残高(平残)は103,508億円と前年同期比+4,639億円(年率+4.7%)の増加となりました。

預金残高(平残)増加の主な内訳は以下のとおり

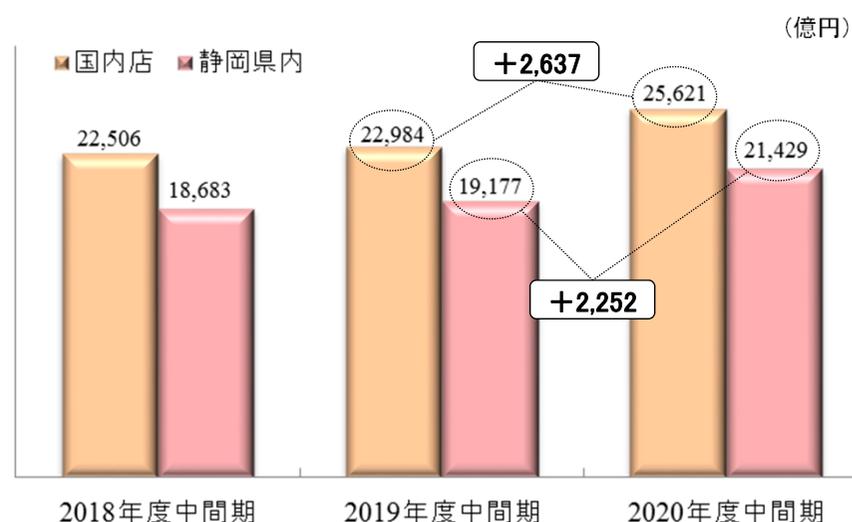
国内営業店※	+ 4,696億円(年率+4.9%)
うち静岡県内※	+ 4,262億円(年率+5.0%)
うち個人※	+ 1,634億円(年率+2.4%)
うち法人	+ 2,637億円(年率+11.5%)
海外店	△ 43億円(年率△2.7%)
東京オフショア	△ 14億円(年率△0.6%)

※インターネット支店△1,178億円(年率△21.4%)を含みます。
(平残4,330億円)

うち個人預金残高(平残)の推移



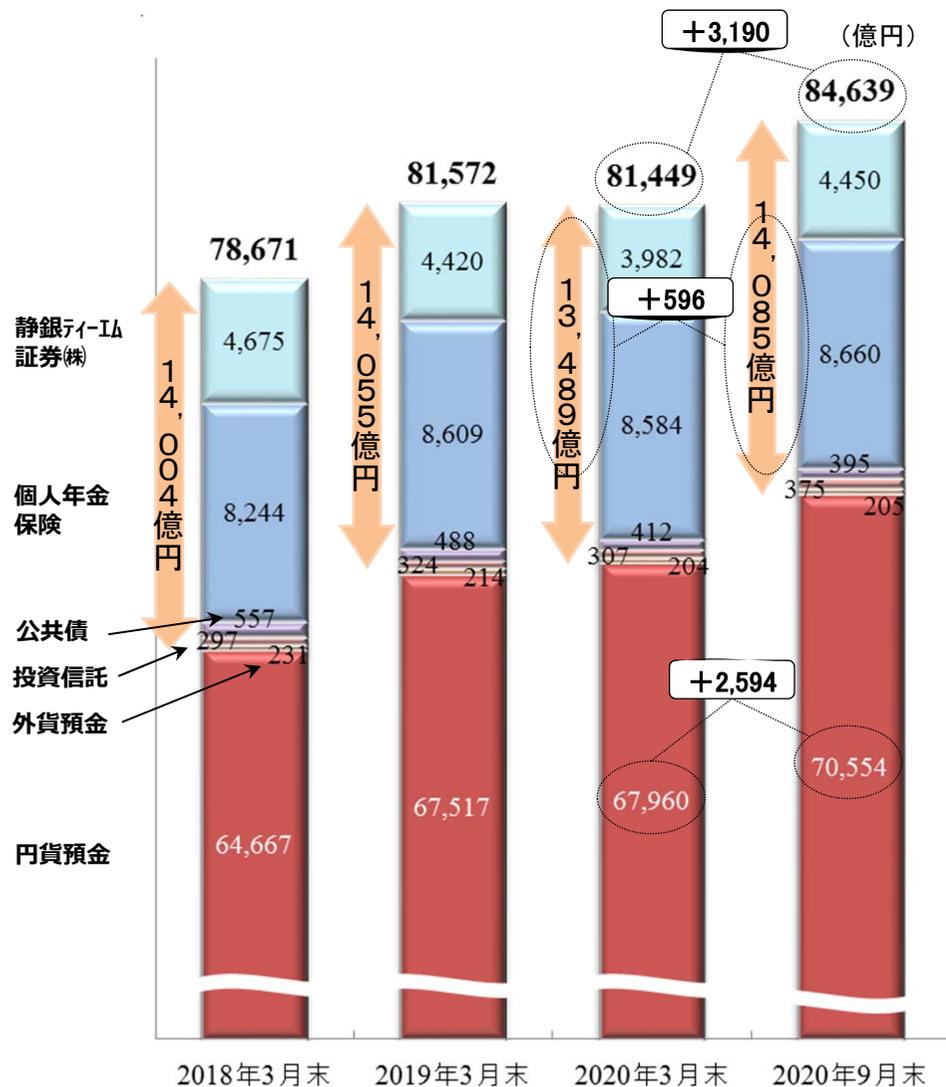
うち法人預金残高(平残)の推移



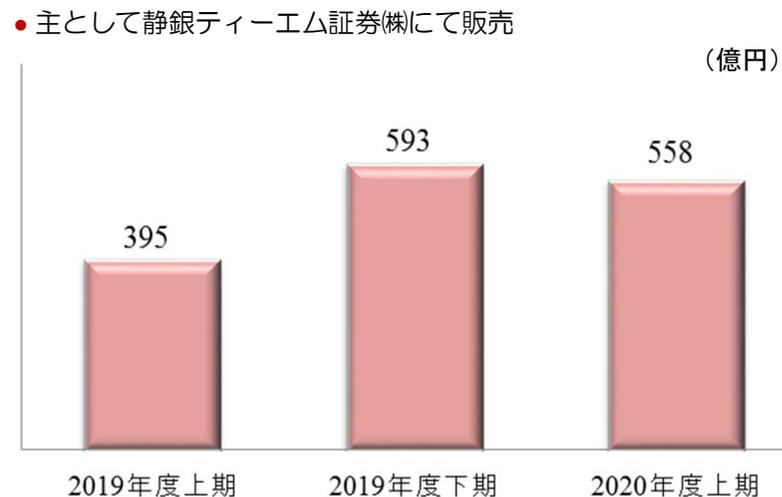
預り資産の状況

- 2020年9月末の静銀ティーエム証券(株)を含む個人預り資産残高は84,639億円(前期末比+3,190億円)、資産運用商品(円貨預金・譲渡性預金を除く個人預り資産)残高は14,085億円(前期末比+596億円)となりました。

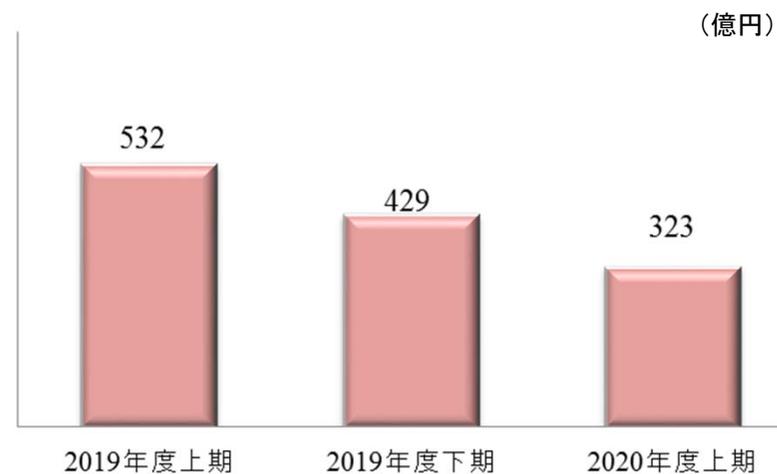
個人預り資産(末残)の推移



投資信託販売額の推移



個人年金保険販売額等の推移



与信関係費用：48億円（前年同期比△14億円）

《与信関係費用の内訳》	(億円)	
	2020年度 中間期	前年同期比
一般貸倒引当金繰入額	19	+16
個別貸倒引当金繰入額	30	△6
その他 ※1	△1	△24
合計	48	△14
(不良債権処理額) ※2	(29)	(△29)

- ・債務者区分の引下げ等 46億円
- ・担保評価下落 0億円
- ・格上、回収等による取崩 △16億円

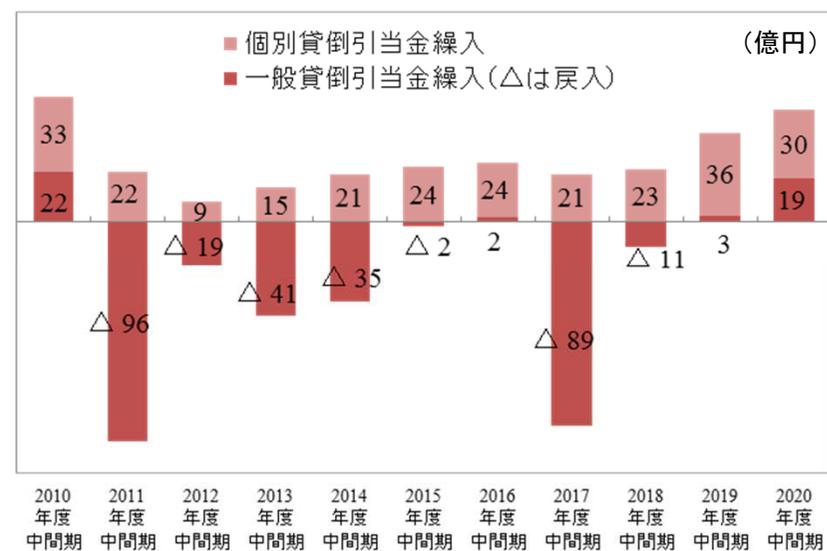
※1 信用保証協会負担金、偶発損失引当金繰入額、貸出債権等売却損益、貸出債権放棄損などを含みます。

※2 「個別貸倒引当金繰入額」に「その他」を加えて算出しています。

与信関係費用・与信関係費用比率の推移



個別貸倒引当金繰入・一般貸倒引当金繰入の推移



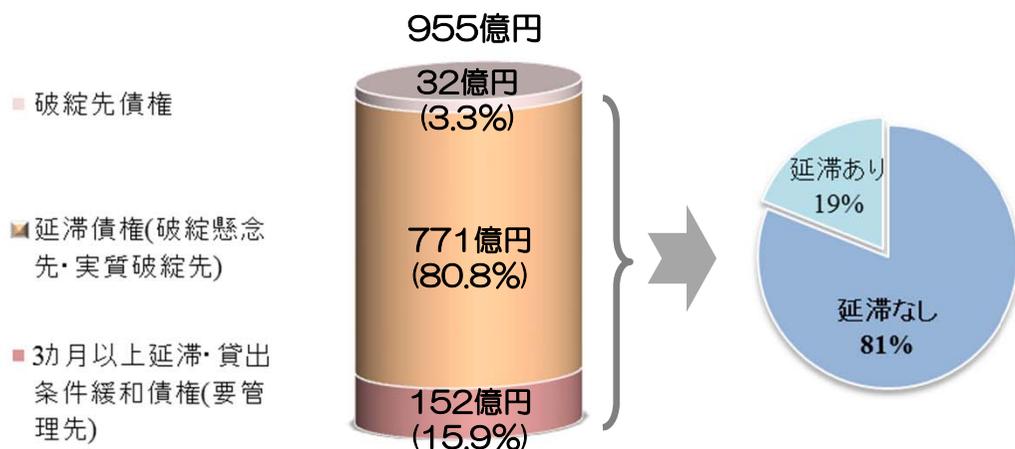
健全性② ~不良債権の状況

リスク管理債権の状況（単体ベース）

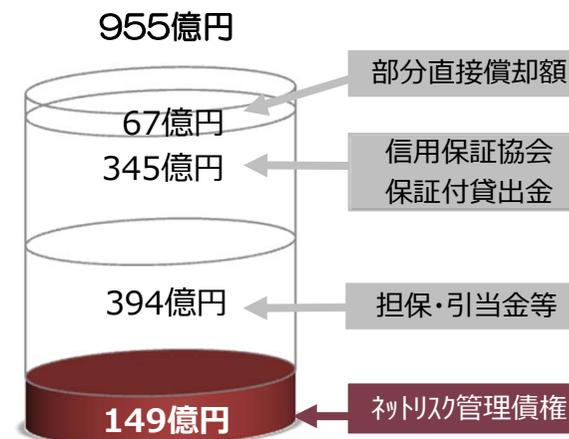
- リスク管理債権 955億円（前期末比 +35億円）
- リスク管理債権比率 1.03%（ // +0.01ポイント）
- ネットリスク管理債権 149億円（ // +9億円）
- ネットリスク管理債権比率 0.16%（ // +0.01ポイント）

※ネットリスク管理債権＝リスク管理債権－部分直接償却額－信用保証協会保証付貸出金－担保・引当金等

2020年9月末リスク管理債権の内訳



ネットリスク管理債権



不良債権のオフバランス化実績

	2018年度	2019年度	2020年度 (億円)	
			うち中間期	中間期
新規発生	+283	+320	+157	+184
オフバランス化 (うち破綻懸念先以下)	△295 (△266)	△316 (△234)	△160 (△123)	△149 (△123)
リスク管理債権	916	920	913	955

+35億円

【184億円の内訳】 (億円)

要管理先	38
破綻懸念先	127
実質破綻先・破綻先	19

【123億円の内訳】 (億円)

本人弁済・預金相殺	14
担保処分・代位弁済	64
格上	29
債権売却等	16

健全性③ ~自己資本比率の状況

- 2020年9月末の総自己資本比率およびCET1（普通株式等Tier1）比率はともに、前期末比+0.58ポイントの16.17%となりました。

※1 CET1比率は、普通株式に係る株主資本等を中心とした比率であります。

※2 リスク・アセットの計算方法は、信用リスクについては基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスクについては粗利益配分手法を採用しています。

自己資本比率(連結ベース)



自己資本およびリスク・アセット等の推移

(億円)

	2019年 3月末	2020年 3月末	2020年 9月末	前期末 比
自己資本(注)	9,133	8,938	9,421	+483
CET1 (普通株式等Tier1)	9,133	8,938	9,421	+483
その他Tier1	—	—	—	—
Tier2	—	—	—	—
リスク・アセット	56,901	57,297	58,252	+955
信用リスク・アセットの額	53,790	54,113	55,042	+929
マーケット・リスク 相当額に係る額	130	186	173	△13
オペレーショナル・リスク 相当額に係る額	2,981	2,998	3,037	+39

(注) 優先株式、劣後債等を含んでいません。

株主還元状況

- 2020年度の1株当たり配当金は、第14次中期経営計画（2020年度～2022年度）における株主還元の目標「中長期的に株主還元率50%以上（連結ベース）」に則り、業績などを総合的に勘案し、本年5月の公表どおり年間22円を予定しています。

配当金の推移

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度予想
1株当たり配当金(年間)	21.00円	22.00円	22.00円	22.00円<11.00円>
配当利回り(配当/期末株価)	2.08%	2.60%	3.34%	—

< > は中間配当金

株主への利益配分の状況

(億円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度 予想	2015～2019年度実績 (5年間)
配当金総額①	125	129	126	126	625(累計)
自己株式取得金額②	97	101	86	※ —	439(累計)
株主還元額③=①+②	222	230	212	126	1,064(累計)
親会社株主に帰属する当期純利益④	501	469	387	420	2,129(累計)
配当性向①/④×100 <連結>	24.90%	27.63%	32.62%	30.06%	29.36%
株主還元率③/④×100 <連結>	44.32%	49.11%	54.90%	30.06%	49.99%

※ 現時点での決議事項はありません。

業績予想

(億円)

【連結】	2019年度実績 (A)	2020年度予想 (B)	前年度比 (B)-(A)		(参考) 2020年度中間期 実績
経常利益	546	610	+64		355
親会社株主に帰属する当期純利益	387	420	+33		244

(億円)

【静岡銀行単体】	2019年度実績 (A)	2020年度予想 (B)	前年度比 (B)-(A)		(参考) 2020年度中間期 実績
業務粗利益	1,310	1,436	+126		728
資金利益	1,069	1,148	+79		575
役務取引等利益	156	151	△5		83
特定取引利益	6	8	+2		4
その他業務利益	79	129	+50		66
(うち国債等債券関係損益)	(39)	(67)	(+28)		(54)
経費 (△)	791	847	+56		405
一般貸倒引当金繰入額 (△)	4	22	+18		19
業務純益	515	567	+52		304
臨時損益	△50	△52	△2		16
経常利益	465	515	+50		320
当期純利益	334	360	+26		222
与信関係費用 (△)	87	130	+43		48

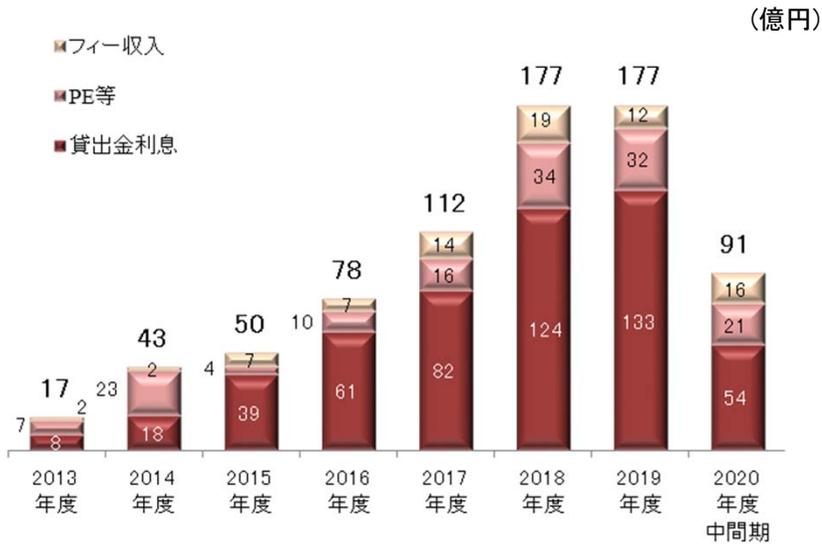
※ 以下の理由から、年度業績予想は修正しておりません

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大により景気先行きの不透明感もあり、年度の与信関係費用130億円を据え置いたため
2. 有価証券売却益を中間期に前倒しで計上し、年度計画は変更ないため

【ご参考】事業領域拡大への取組み（第12次中期経営計画からの継続）

【ストラクチャードファイナンス】
貸出金利息・フィー等収入推移

首都圏
ビジネス



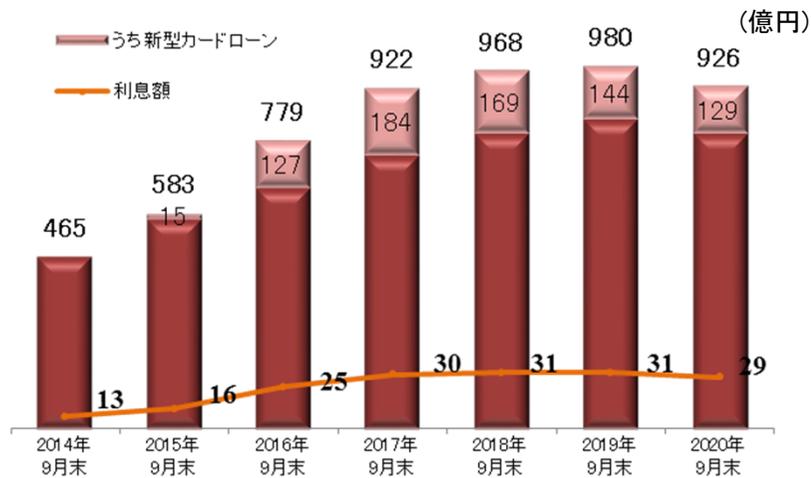
【資産形成層取引】
資産形成ローン未残推移

首都圏
ビジネス



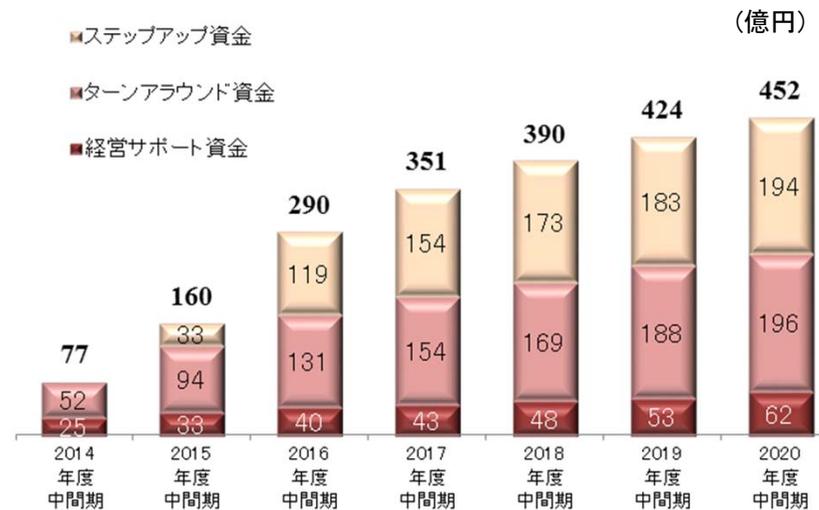
【コンシューマーファイナンス】
無担保ローン未残推移

ネーション
ワイド
ビジネス



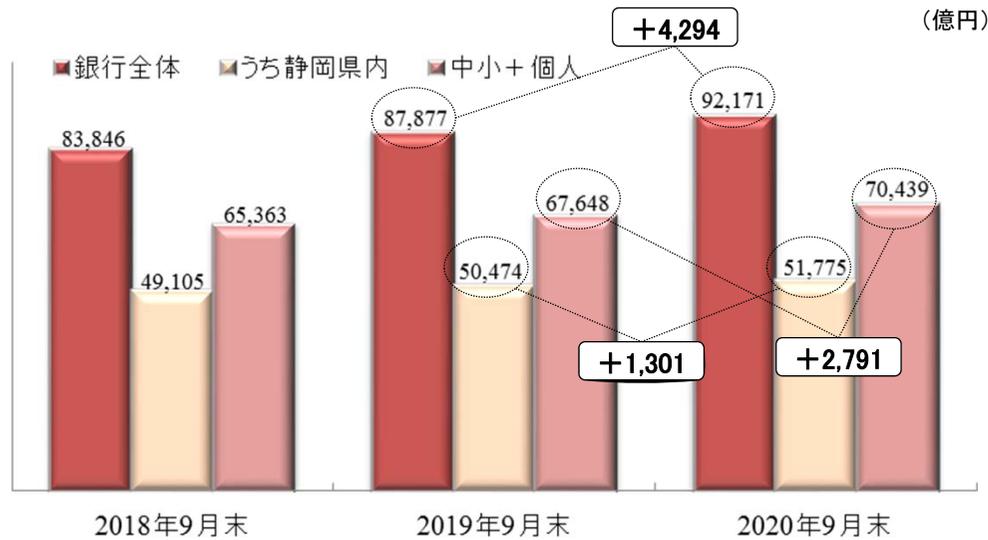
【スモールビジネスローン】
経営改善資金等 累計実行額推移

コア
事業領域
の深化



【ご参考】貸出金の状況（未残）

貸出金残高(未残)の推移



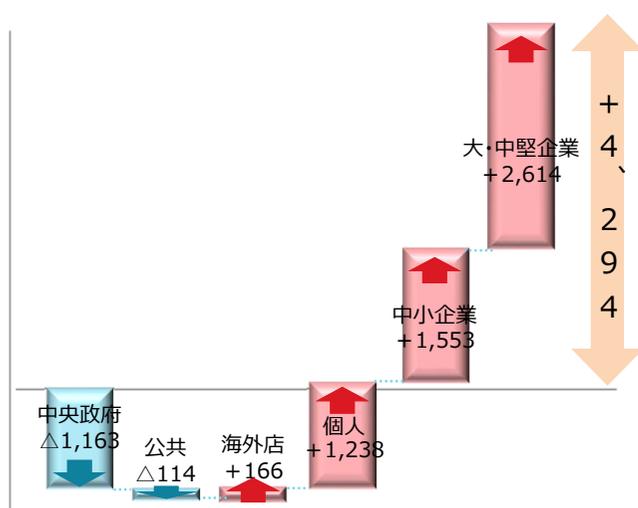
●2020年9月末の貸出金残高(未残)は、92,171億円と前年同期比+4,294億円(年率+4.9%)の増加となりました。

貸出金残高(未残)増加の主な内訳は以下のとおり

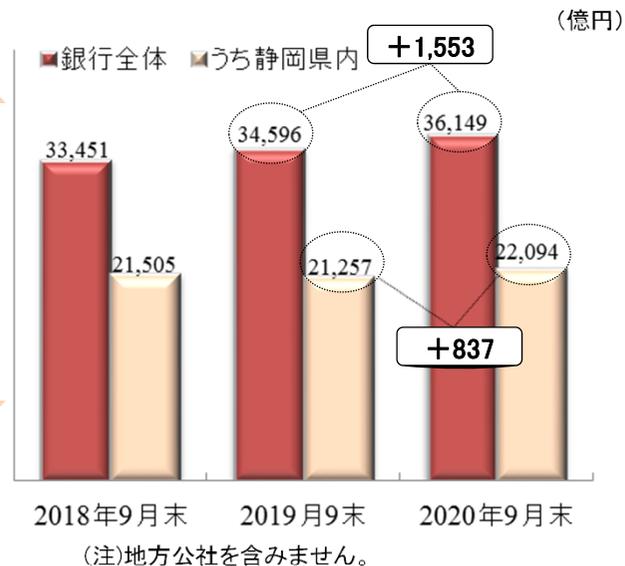
- ・大・中堅企業向け + 2,614億円(年率+16.7%)
- ・中小企業向け + 1,553億円(年率+4.5%)
- ・個人向け + 1,238億円(年率+3.7%)
- ・海外店 + 166億円(年率+8.5%)

企業規模別 貸出金残高(未残)の増減

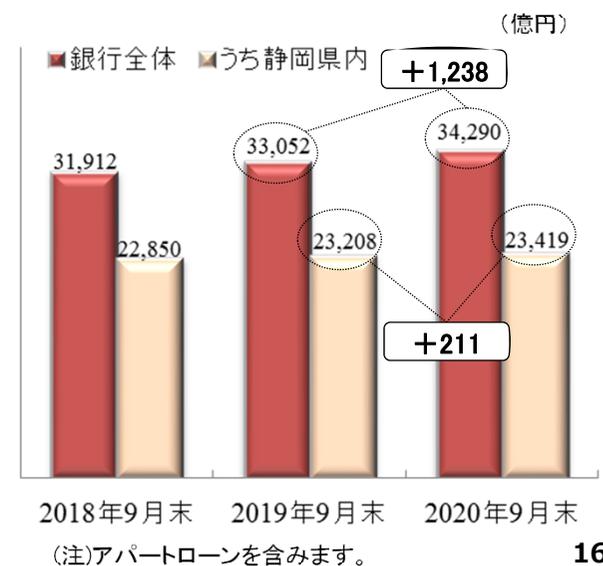
【貸出金増減額内訳(前年同期比)】 (億円)



うち中小企業向け貸出金残高(未残)の推移

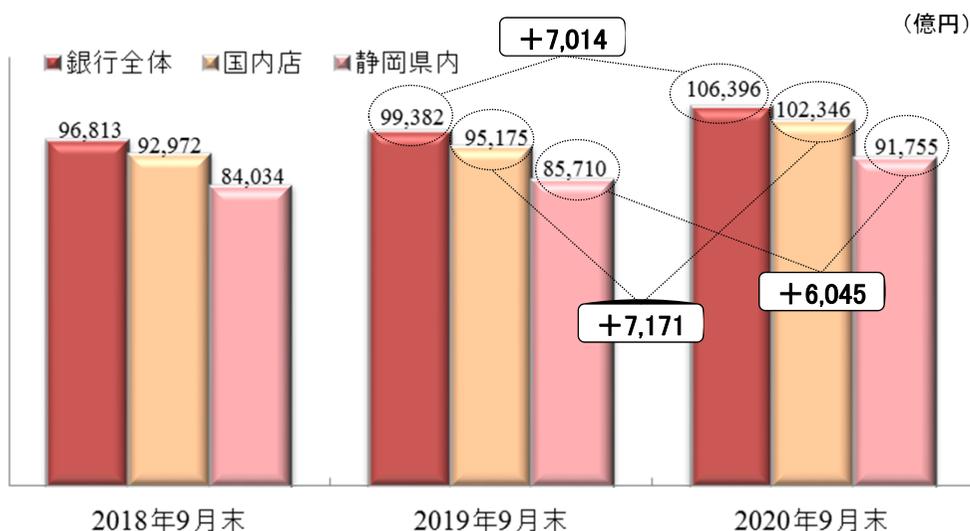


うち個人向け貸出金残高(未残)の推移



【ご参考】預金の状況（未残）

預金残高(未残)の推移



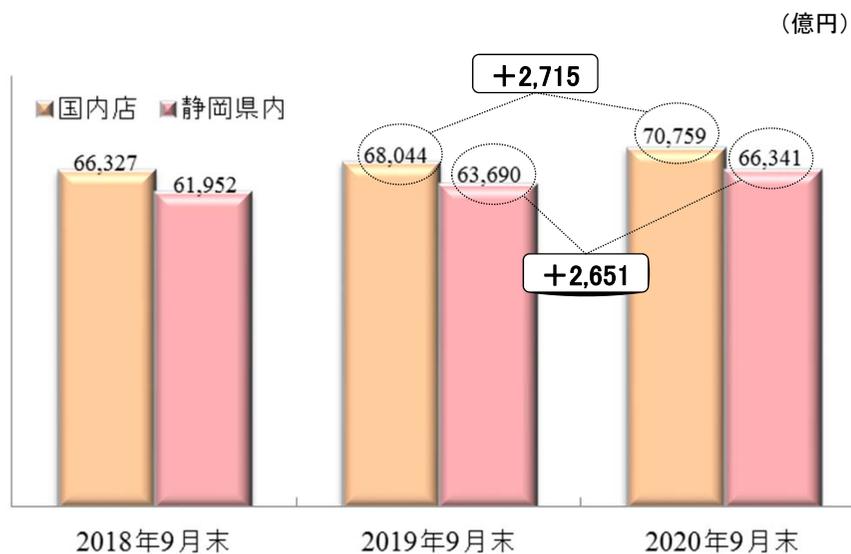
●2020年9月末の預金残高(未残)は106,396億円と前年同期比+7,014億円(年率+7.1%)の増加となりました。

預金残高(未残)増加の主な内訳は以下のとおり

国内営業店※	+ 7,171億円(年率+7.5%)
うち静岡県内※	+ 6,045億円(年率+7.1%)
うち個人※	+ 2,715億円(年率+4.0%)
うち法人	+ 3,875億円(年率+16.6%)
海外店	+ 345億円(年率+26.1%)
東京オフショア	△ 502億円(年率△17.4%)

※インターネット支店△881億円(年率△16.7%)を含みます。
(未残4,397億円)

うち個人預金残高(未残)の推移



うち法人預金残高(未残)の推移





決算データ編

〈貸出金の状況〉〔平残ベース〕【単体】

	2019年度			2020年度	前年同期比 B-A
		上期 A	下期	上期 B	
貸出金	87,401	86,286	88,517	91,753	5,467
国内店①	85,239	84,088	86,390	89,420	5,332
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	49,955	49,349	50,561	53,599	4,250
うち中小企業向け② ※1	34,286	34,061	34,511	35,571	1,510
公共向け貸出金 ※2	2,319	2,094	2,544	1,866	△ 228
うち中小企業向け（公社等）③	47	46	48	29	△ 17
個人向け貸出金④ ※3	32,965	32,645	33,285	33,955	1,310
（消費者ローン） ※3	32,828	32,508	33,148	33,832	1,324
海外店	2,162	2,198	2,127	2,333	135
うち中小企業向け②+③	34,333	34,107	34,559	35,600	1,493
うち中小企業等⑤=②+③+④	67,298	66,752	67,844	69,555	2,803
中小企業等貸出金比率⑤/①	78.95%	79.38%	78.53%	77.78%	△ 1.60p

【静岡県内の貸出金】

	2019年度			2020年度	前年同期比 B-A
		上期 A	下期	上期 B	
静岡県内の貸出金	50,063	49,563	50,562	51,651	2,088
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	24,625	24,462	24,788	26,407	1,945
うち中小企業向け⑥ ※1	21,137	21,042	21,231	21,789	747
公共向け貸出金 ※2	2,312	2,086	2,537	1,860	△ 226
うち中小企業向け（公社等）⑦	39	38	41	23	△ 15
個人向け貸出金⑧ ※3	23,126	23,015	23,237	23,384	369
（消費者ローン） ※3	22,975	22,864	23,086	23,249	385
うち中小企業向け⑥+⑦	21,176	21,080	21,272	21,812	732
うち中小企業等⑥+⑦+⑧	44,302	44,095	44,509	45,196	1,101

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「公共向け貸出金」には、中央政府向け貸出金を含んでおります。

※3. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

〈貸出金の状況〉〔未残ベース〕 【単体】

	2019年9月末 A	2020年3月末 B	2020年9月末 C	(億円)	
				2019年9月末比 C-A	2020年3月末比 C-B
貸出金	87,877	89,695	92,171	4,294	2,476
国内店①	85,928	87,258	90,056	4,128	2,798
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	50,297	51,050	54,464	4,167	3,414
うち中小企業向け② ※1	34,596	34,739	36,149	1,553	1,410
公共向け貸出金 ※2	2,579	2,425	1,302	△ 1,277	△ 1,123
うち中小企業向け（公社等）③	46	28	33	△ 13	5
個人向け貸出金④ ※3	33,052	33,783	34,290	1,238	507
（消費者ローン） ※3	32,911	33,648	34,171	1,260	523
海外店	1,949	2,437	2,115	166	△ 322
うち中小企業向け②+③	34,642	34,767	36,182	1,540	1,415
うち中小企業等⑤=②+③+④	67,694	68,550	70,472	2,778	1,922
中小企業等貸出金比率⑤/①	78.77%	78.56%	78.25%	△ 0.52p	△ 0.31p

【静岡県内の貸出金】

	2019年9月末 A	2020年3月末 B	2020年9月末 C	(億円)	
				2019年9月末比 C-A	2020年3月末比 C-B
静岡県内の貸出金	50,474	50,907	51,775	1,301	868
一般貸出金（企業向け貸出金） ※1	24,694	25,071	27,059	2,365	1,988
うち中小企業向け⑥ ※1	21,257	21,545	22,094	837	549
公共向け貸出金 ※2	2,572	2,419	1,297	△ 1,275	△ 1,122
うち中小企業向け（公社等）⑦	39	22	28	△ 11	6
個人向け貸出金⑧ ※3	23,208	23,417	23,419	211	2
（消費者ローン） ※3	23,053	23,268	23,290	237	22
うち中小企業向け⑥+⑦	21,296	21,567	22,122	826	555
うち中小企業等⑥+⑦+⑧	44,504	44,984	45,541	1,037	557

※1. 「一般貸出金（企業向け貸出金）」および「うち中小企業向け」には事業性個人貸出金を含んでおります。

※2. 「公共向け貸出金」には、中央政府向け貸出金を含んでおります。

※3. 「個人向け貸出金」および「消費者ローン」には、アパートローンを含んでおります。

<有価証券の状況> 【単体】

有価証券ポートフォリオ

	2020年3月末		2020年9月末		2020年3月末比	
		構成比率(%)		構成比率(%)		構成比率(p)
有価証券	16,609	100.0	17,839	100.0	1,230	—
国債	642	3.9	880	4.9	238	1.0
地方債	1,203	7.2	1,377	7.7	174	0.5
社債	3,601	21.7	3,740	21.0	139	△ 0.7
株式	3,454	20.8	4,084	22.9	630	2.1
その他	7,709	46.4	7,758	43.5	49	△ 2.9
うち外貨債券	4,820	29.0	5,337	29.9	517	0.9
うち投資信託	1,776	10.7	1,257	7.0	△ 519	△ 3.7

有価証券評価損益

	2020年3月末		2020年9月末		2020年3月末比	
その他有価証券		2,173		2,927		754
株式		2,115		2,776		661
債券		35		35		△ 0
その他(外債、投信等)		23		116		93

※「その他有価証券」とは、有価証券のうち、売買目的有価証券、満期保有目的の債券、子会社株式及び関連会社株式を除いたものをいいます。

日経平均株価	2020年3月末	2020年9月末	2020年3月末比
	18,917.01 円	23,185.12 円	4,268.11 円

減損処理による影響

減損基準	影響(億円)	
	減損	増益への影響
●時価のある株式・債券 時価が簿価に比べ30%以上下落したもの	(△)	21.3
●時価のない株式等 実質価額が簿価に比べ30%以上下落したもの	(△)	—
合 計	(△)	21.3

<預金・預り資産の状況> 【単体】

預金の状況（末残）

	2019年9月末	2020年3月末	2020年9月末	(億円)	
	A	B	C	2019年9月末比 C-A	2020年3月末比 C-B
預金	99,382	100,552	106,396	7,014	5,844
国内営業店預金	95,175	96,311	102,346	7,171	6,035
うち個人預金	68,044	68,164	70,759	2,715	2,595
うち法人預金	23,377	23,388	27,252	3,875	3,864
静岡県内預金	85,710	87,255	91,755	6,045	4,500
うち個人預金	63,690	63,801	66,341	2,651	2,540
うち法人預金	19,194	19,454	22,141	2,947	2,687
譲渡性預金	2,096	1,431	1,126	△ 970	△ 305
合計	101,478	101,983	107,522	6,044	5,539

個人預り資産の状況（末残）

	2019年9月末	2020年3月末	2020年9月末	(億円)	
	A	B	C	2019年9月末比 C-A	2020年3月末比 C-B
個人預り資産残高（銀行本体）	77,468	77,467	80,189	2,721	2,722
円貨預金	67,836	67,960	70,554	2,718	2,594
譲渡性預金	—	—	—	—	—
外貨預金	209	204	205	△ 4	1
投資信託	348	307	375	27	68
公共債	437	412	395	△ 42	△ 17
個人年金保険	8,638	8,584	8,660	22	76
静銀ティーエム証券株の個人預り資産	4,445	3,982	4,450	5	468
静銀ティーエム証券株を含む個人預り資産	81,913	81,449	84,639	2,726	3,190
うち円貨預金・譲渡性預金除き	14,077	13,489	14,085	8	596

<2020年9月末の自己査定結果、金融再生法開示債権、リスク管理債権> 【単体】

- ・総与信に占める金融再生法開示基準による不良債権の割合1.02%（部分直接償却を実施した場合の総与信に占める割合0.95%）
- ・貸出金に占めるリスク管理債権の割合1.03%（部分直接償却を実施した場合の貸出金に占める割合0.96%）

(億円)

自己査定における債務者区分		自己査定分類区分（対象：貸出金等与信関連債権）				担保・保証等による保全額	引当額	保全率	金融再生法開示債権		リスク管理債権
		非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				対象：要管理債権は貸出金のみ (その他は貸出金等与信関連債権)	うち私募債	
破綻先 32 <9>		25 <2>	7	— (2)	— (23)	72	83	100.0%	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 155 <87>		破綻先債権 32 <9>
実質破綻先 123 <78>		75 <30>	48	— (13)	— (45)				危険債権 649 <649>		延滞債権 771 <727>
破綻懸念先 649 <649>		452 <452>	113	84 (112)		453	112	87.0%	要管理債権 (貸出金のみ) 152		3カ月以上延滞債権 9
要注意先	要管理先 177	3	174			要管理先の保全額 88	14	57.8%	正常債権 92,557		貸出条件緩和債権 143
	要管理先以外の 要注意先 8,907					要管理先のうち要管理債権に対する保全額 75	11	57.0%			合計 955 <888>
	要管理先以外の 要注意先 8,730					要管理先のうち要管理債権以外の保全額 13	3	62.6%			
正常先 83,512		83,512				要管理先以外の 要注意先保全額 4,872	152	57.6%			
合計 93,223 <93,155>		非分類合計 86,646 <86,578>	Ⅱ分類合計 6,493	Ⅲ分類合計 84 (127)	Ⅳ分類合計 — (68)		71		合計 93,513 <93,445>		290
							合計 432		合計 93,513 <93,445>		290

- ※1. 貸出金等与信関連債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、未収利息、貸出金に準ずる仮払金、クレジットカード未収金
2. 自己査定分類区分における（ ）内は分類額に対する引当額です。破綻先・実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当しております。
3. 当行は部分直接償却は実施していませんが、実施した場合の与信残高を〈 〉内に記載しております。部分直接償却～Ⅵ分類相当額 68億円
4. 要注意先については、当該先の与信残高から保証協会保証・預金担保等（優良担保・優良保証）を控除した額をすべてⅡ分類としております。
5. 正常先については、国・地公体向けの非区分債権が含まれております。
6. 金融再生法開示債権には、時価評価をした銀行保証付私募債が含まれております。

<債務者区分の遷移状況(残高ベース)> 【単体】

【2020年3月～2020年9月】

(億円)

		当初残高 A	2020年9月末							デフォルト額	デフォルト率	個別貸倒引	繰入率
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先 B	実質破綻先 C	破綻先 D	その他	B+C+D E	E/A	当金繰入額 F	F/A
2020 年 3 月 末	正常先	82,083	78,192	1,147	20	11	15	2	2,696	28	0.03%	9	0.01%
	要注意先	7,674	503	6,976	29	101	5	-	60	106	1.38%	31	0.40%
	要管理先	157	4	22	127	0	-	-	4	0	0.00%	0	0.00%
	破綻懸念先	607	3	19	3	530	32	5	15				
	実質破綻先	143	0	0	-	3	89	17	34				
	破綻先	34	-	5	-	0	-	19	10				

【2019年9月～2020年9月】

(億円)

		当初残高 A	2020年9月末							デフォルト額	デフォルト率	個別貸倒引	繰入率
			正常先	要注意先	要管理先	破綻懸念先 B	実質破綻先 C	破綻先 D	その他	B+C+D E	E/A	当金繰入額 F	F/A
2019 年 9 月 末	正常先	80,394	74,637	1,686	31	51	26	5	3,958	82	0.10%	38	0.04%
	要注意先	7,741	749	6,620	33	146	14	4	175	164	2.11%	29	0.37%
	要管理先	178	6	54	101	1	-	0	16	1	0.56%	0	0.00%
	破綻懸念先	607	5	32	4	469	35	20	42				
	実質破綻先	121	0	6	1	3	69	5	37				
	破綻先	34	-	4	0	-	0	16	14				

- ※ 1. 計上基準：与信残高は2020年3月末、2019年9月末の残高を使用し、2020年9月末までの間の与信額の増減は考慮していません。
2. その他については2020年9月末時点で取引解消、オフバランス化しているものを計上しています。